

新小山市民病院ニュースレター

Shin-  yama City Hospital News letter

Vol.40

1 副院長挨拶

～ 人生100年時代に思う ～

最近、よく見聞きするワードですが、どのような意識でこのワードを使用しているのか疑問に思うことがあります。明るい未来？課題山積の未来？Wikipediaによると、人生100年時代とは、ロンドン・ビジネス・スクール教授二人が『LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略』で提唱した言葉で、2019年5月にその日本語版が発売され、同時期に衆議院議員の小泉進次郎氏が使用したことで広く使用されるようになったようです。この著書の中で、先進国の2007年生まれの二人に一人が103歳まで生きる「人生100年時代」が到来するとされています。にわかには信じがたいことですが、冷静に考えると約80年後の将来になります。今の社会情勢（少子高齢化、老後資金問題、膨らみ続ける社会保障費など）からは、明るい未来はとても想像できません。調べてみると、政策として「人生100年時代構想会議」なるものが2017年9月に設けられ、9回の会議を経て2018年6月に「人づくり革命 基本構想」としてとりまとめられています。中身は、幼児教育無償化、待機児童解消、高等教育無償化、介護職員の処遇改善、リカレント教育、大学改革、高齢者雇用の促進とあります。簡単に言えば、子育て環境を改善し、教育を充実させ、無駄な大学は無くし、長期間にわたって社会貢献できる人材を生み出し、老後は手厚く施設で面倒みてもらいましょうと言ったところでしょうか。

では我々医療者は、人生100年時代に向けてどのような医療を提供すべきでしょうか。認知症の進行や脳梗塞後遺症などで満足に意思疎通が取れず、食べられなくなって来院する高齢者がいます。このような患者に対して、どこまで積極的に医療介入すべきか悩む場面が度々ありますが、今後、このような患者が増えてくるのが容易に予想されます。欧米では、食べられなくなった高齢者に対する点滴や経管栄養は非倫理的との理由から一般的には行われていないことは皆さんもご存知のことと思います。私自身、医療は単に生存期間を延ばすことが目的ではないと思いますし、経管栄養や点滴で強制的に生かされる状況はまっぴらご免です。厚労省が進める人生会議（ACP(Advance Care Planning)）をもっと活用し、本人の望まない医療を行わないなど、人生100年時代に向けて、高齢者医療の在り方も本格的に議論されなければならないと思いますが……。皆様はどのようにお考えでしょうか。

令和 5年 3月 新小山市民病院 副院長・消化器内科部長 田野 茂夫



目次:

副院長挨拶	1
職員紹介	2
新型コロナウイルス	3
お知らせ	4

ハイライト

- 1月に入職しました職員（新任医師と患者支援センター職員）をご紹介します。
- 新型コロナウイルス感染症に関する発症当時から今日までの当院の対応策協力等道のりをまとめてみました。
- 患者支援センターからは、紹介・逆紹介率の報告と来年度の医療・連携の会のご案内をさせていただきます。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

ポットラック カンファレンス 地域完結型 医療・連携の会

来年度の開催予定日をお知らせいたします。

たくさんのご参加をお待ちしております

ポットラック カンファレンス

偶数月、第1火曜日 19:15 ~

オンライン（Zoom）にて開催しております。

4/4, 6/6, 8/1,
10/3, 12/5, 2/6



地域完結型 医療・連携の会 ～ WEB ライブセミナー ～

奇数月、第3木曜日 19:15 ~

5/18, 7/20, 9/21,
11/16, 1/18, 3/21

今後も皆様のご意見をもとに改善を行っていきますので、たくさんのご参加をお待ちしております。



職員紹介

1月採用の医師と患者支援センター職員を紹介します。



耳鼻咽喉科
医員
甲州 亮太

令和5年1月より、新小山市市民病院 耳鼻咽喉科に赴任いたしました、甲州 亮太（こうしゅう りょうた）と申します。

3ヶ月という短い期間ではございますが、精一杯務めさせていただきますと思います。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

出身地：山形県

趣味・特技：昔はよく登山をしていました

専門分野（疾患）：耳鼻咽喉科一般



井野口 憲司

令和4年1月より患者支援センター医療連携室兼地域サービス推進室にて勤務しております 井野口 憲司（いのぐち けんじ）と申します。

前職では、高齢者の相談機関において地域福祉の推進や、医療・介護の連携に関する業務に従事してまいりましたが、急性期医療に携わりたいと思い、当院に入職いたしました。

ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、これまでに培った経験を活かして、微力ながら地域医療の連携に貢献できるよう力を尽くして参りますので、何卒ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

出身地：群馬県富岡市

好きな食べ物：カレーライス

嫌いな食べ物：干したものの全般（干し芋、干し梅など）

好きな本：推理小説

（最近では、東野圭吾先生や綾辻行人先生の作品を読んでいます。）

最近のニュース：妻の勧めで長男と長女がピアノ教室に通い始めました。

上達の速さと月謝の高さに驚いています！



趣味・特技：ゴルフ、読書



感染対策向上加算に係る医療機関連携について

【小山地区医師会管内（小山市、下野市、野木町、上三川町）の医療機関様対象】

当院は「感染対策向上加算1」を算定しております。

令和4年度診療報酬改定に伴い、感染対策向上加算3又は外来感染対策向上加算、連携強化加算を算定される医療機関においては、加算1を算定している医療機関との連携が求められています。

「感染対策向上加算1」を算定している当院では、年間4回のカンファレンス（うち1回は訓練）を開催しております。また連携強化加算で施設基準となっている感染症発生状況並びに抗菌薬使用状況の報告についても当院で受け付けております。当院との連携を希望される場合は医療連携申請用紙に必要事項を記載の上、当院の地域医療連携室宛にFAXにてお申込みください。

※詳細は新小山市市民病院HPをご確認ください。

<https://tochigi.hospital-shinoyama.jp/news/detail.php?id=12619>

【お問い合わせ・連絡先】

★手続き関係：患者支援センター 医療連携室

電話番号：0285-36-0252 FAX番号：0285-36-0352（医療連携室）

★感染対策関係：院内感染対策室 電話番号：0285-36-0200（代表）





新型コロナウイルスについて

～ 新型コロナウイルスの国内初感染から丸3年。 当院の現状 ～



当院は、栃木県からの依頼を受け、新型コロナ感染症患者の診断や入院治療の受け入れを 2020 年 4 月より開始しました。患者さんを重症度に応じて適切な医療機関に隔離して治療し、なおかつ通常の救急・重症疾患の診療を二次医療機関病院として対応しながら、地域の拠点病院として職員全員ワンチームで取り組んでいます。

当初、当院保有の救急車の中で新型コロナ感染患者を診察していたため、仮設トイレも設置しました。徐々に、新型コロナ感染患者が増加していき、令和 2 年 8 月にコンテナ 1 台設置、同年 11 月にコンテナ 2 台を増設して診察を行っています。

新型コロナワクチン接種については、令和 3 年 3 月より病院職員の接種がスタートし、同年 9 月から小山市から依頼を受け、夜間のコロナワクチン接種がスタートしました。透析患者などさまざまな状態の新型コロナ感染症患者にも対応しております。いかなる外的状況にも対応して変革できる組織づくりを目指すとともに、職員が心身ともに健康な状態で、質の高い医療サービスを提供できるよう、「持続可能な地域密着型の急性期中核病院」としての本院の使命を果たしていきます。



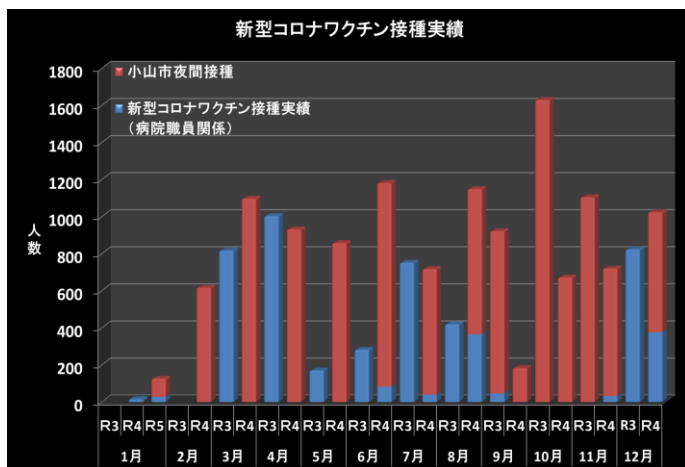
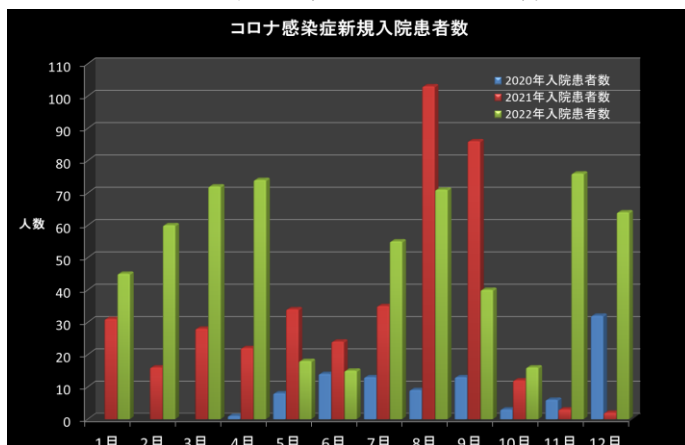
発熱外来開始
コンテナ 1 台 (R2.8)



コンテナ 2 台に増設
(R2.11)



ワクチン接種 (R2.9～)



－ 院外への協力体制 －

放射線科では・・・



栃木県は県内のコロナ医療・救急医療の危機的状況に対応するため県央南臨時医療施設（場所は非公表）を令和 4 年 12 月 28 日に設置しました。診療放射線技師は県からの要請により運営スタッフの一員として、CT 撮影を主に放射線技師が交代で 1 名若しくは 2 名の派遣を行い、協力しています。

当院では・・・



2019 年 12 月、中国から発生した新型コロナウイルス感染症に世界中が振り回され、今現在もその混乱は続いています。当院は、小山地区医師会が令和 2 年 5 月に開設した、地域外来・PCR 検査センターで行う、COVID-19 のドライブスルー検査活動において、令和 2 年 5 月 26 日から令和 4 年 6 月 24 日までに多くの職員が活動協力をしました。

その他、栃木県県南健康福祉センターに協力し、陽性者のメディカルチェックや入院対応を行い感染対策向上加算 1 の医療機関としての使命を果たしてきました。

今後も、市民に信頼され必要とされる地域密着型の急性期中核病院として活動して参りたいと思います。

コロナ患者の透析専用の病床
を確保し透析対応を実施



コロナ患者専門病棟



患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oya.ma.city.hospital>

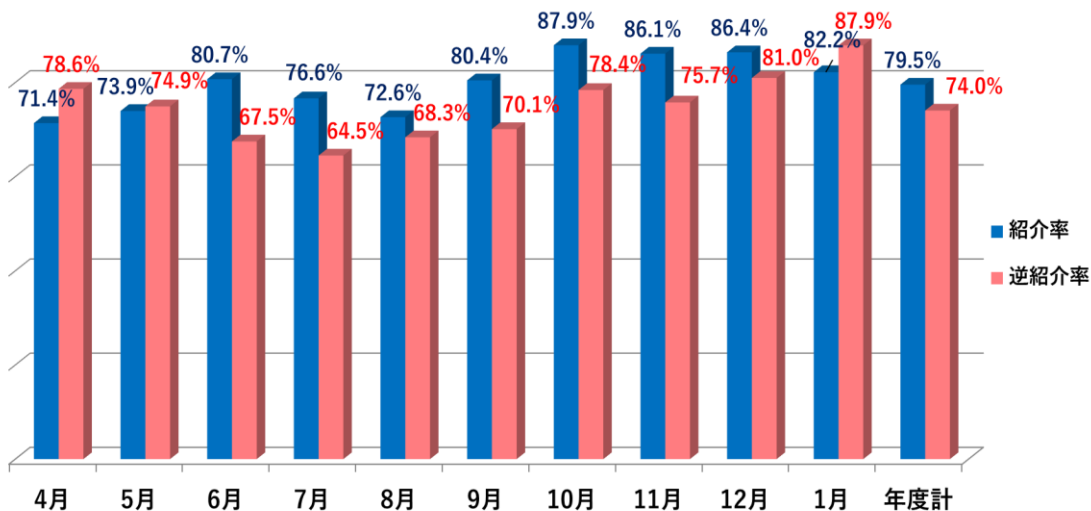


患者支援センターからのお知らせ

いつも当院運営にご理解・ご協力頂きありがとうございます。

コロナ禍で厳しい状況が続いていますが、地域の先生方のご理解により
1月時点 今年度紹介率79.5% (昨年：76.8%に比べ+2.7%) でした。

令和4年度 紹介率・逆紹介率



第40回地域完結型医療・連携の会WEBライブセミナー

第40回 地域完結型医療・連携の会 WEBセミナーをWEBと会場でのハイブリッドで行いました。



第40回

- ・日時 1月19日(木) 19:15~
- ・場所 新小山市市民病院
- ・座長 宮脇副院長
- ・症例報告者 脳神経外科 紺野医師
泌尿器科 熊丸医師
外科 利府医師
- ・院外参加者 23名

次回 第41回地域完結型医療・連携の会
WEBライブセミナーは、
令和5年3月16日(木) 19:15~
循環器内科/心臓血管外科/消化器内科です。
皆様のご参加をお待ちしております。

会場とWEB参加者を交えての質疑応答

R5年度 地域完結型医療・連携の会 WEBライブセミナー予定

	日 程	症例報告
第42回	令和5年 5月18日(木)	整形外科、耳鼻咽喉科、形成外科
第43回	令和5年 7月20日(木)	外科、小児科、皮膚科
第44回	令和5年 9月21日(木)	消化器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科
第45回	令和5年 11月16日(木)	神経内科、腎臓内科、泌尿器科
第46回	令和6年 1月18日(木)	脳神経外科、外科、心臓血管外科
第47回	令和6年 3月21日(木)	循環器内科、呼吸器内科、眼科

